

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|------------------------|
| 事業所番号 | 3873800290 |
| 法人名 | 社会福祉法人 西予総合福祉会 |
| 事業所名 | グループホームうつのみやさんの家 |
| 所在地 | 愛媛県西予市宇和町岩木 1 0 2 7 番地 |
| 自己評価作成日 | 平成21年9月30日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成21年10月21日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

散歩、畑仕事等できるだけ戸外で活動し、外気に触れることで季節を肌で感じ、五感を刺激し、また、風邪、発熱等を防ぎ健康的な生活を送られている。
畑があり、旬の作物を収穫する喜びや、食卓に並べることで季節感を感じていただけたと思う。
無意識を豊かにするケアを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

民家改修型のグループホームで、玄関の上がりかまち等、段差も多いが、職員が声をかけたり見守りしながら、安全に生活できるようサポートされている。敷地内には畑や果物の木、池もあり、四季折々に楽しみがあるような環境となっている。

職員は、利用者への言葉使いに気を付けておられ、肩にふれたりスキンシップを大切にされていた。調査訪問時、「手が冷たいね」と職員の手で利用者の手を温めておられる様子等もうかがえ、管理者は、利用者が風やお花、星などが「きれい」と感じることができるようなかかわり方をしていきたいと話しておられた。

管理者は、職員とよく話しをされており、職員の努力しているところや気を付けた方がいいと思う点等を話し合われている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームうつのみやさんの家

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

兵頭 いずみ

評価完了日

21年 9月 30日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|--|-------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | (自己評価) 一人ひとりの人格を尊重し、生き生きと地域の一員として生活できるように支援する。 | |
| | | | (外部評価) 「利用者がいきいきと地域の一員として生活できるよう支援する」ことを目指し理念が作られており、事業所の台所等に掲示されている。又、パンフレットには「認知症でも安心して暮らせる場、グループホーム」としてグループホームでどのような暮らしができるか示しておられる。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | (自己評価) 畑づくりの指導をしてもらったり、できた作物を近隣に配ったり、また、いただいたりして常に交流している。 | |
| | | | (外部評価) 近所の方に、畑に使うもみ殻を分けてもらったり、野菜をいただくこともある。利用者の散歩中には「お茶飲んでいかんかい」と声を掛けてもらったり、又、利用者が外に出て行かれた時に、近所の方が教えてくださることもある。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価) 運営推進会議で認知症について話し合いをする以外は特にしていない | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 4 | 3 | <p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p> | <p>(自己評価) 外部評価の結果を見ていただき、ご家族の意見、地域 の方の意見等を出してもらい話し合いをした。 直接的な評価に対する意見は出なかったが、時々は利 用者の方たちとの交流をしたらどうか、という意見を 頂き実施した。</p> <p>(外部評価) 今年度、年間で会議の議題を決めて取り組まれている。「外部の方達にホームの中のことを知ってもらい、認知症についての偏見をなくしてもらいたい」との考えのもと、運営推進会議に取り組まれており、バーベキュー大会で出席者と利用者との交流の機会等も作られている。会議時には地域の方より、「散歩途中に徘徊しているお年寄りを見かけたら家まで案内して欲しい」とお願いもあった。</p> | |
| 5 | 4 | <p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 特に密にとってはいない。が、協力関係はできていると思う。</p> <p>(外部評価) 年に2回介護相談員の方が来られ、利用者の故郷の話題や地元のお話をされている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) それがグループホームだと、職員周知している。</p> <p>(外部評価) 研修等で身体拘束をしないケアについて勉強されている。又、管理者は、日々の中で職員に話しておられる。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|---|
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 管理者のみ研修を受け、他の職員は紙面での閲覧のみである。職員全員利用者を大切に考えて日々のケアに当たっているため虐待はありえない。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 管理者のみ研修を受けたが、今のところ入居者に必要ないので特に行っていない | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 入所時に重要事項説明書に沿って、説明を行っている。 | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 母体となる事業者がアンケートを各家族に行き報告があった。また介護相談員の訪問等で利用者との面談も行っている。 (外部評価) ご家族の来訪時や電話で、日頃の様子をご家族に伝えておられる。 | 今後、事業所では、毎月個別にお手紙でご本人の様子を報告されたり、事業所全体の取り組みを伝えるような便りの作成をすすめていきたいと考えておられた。ご家族へ情報を提供する事とともに、ご家族の意見や要望を引き出せるような働きかけの工夫が期待される。又、重度化や看取りについて、ご家族が心配に思われているようなことはないか、聞き取る機会を作ってはどうか。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 法人内の各事業所の施設長による面談を年数回行っている。また年度初めに自己申告書を提出し、希望要望等も記入している。法人内の全職員が集まりグループに分かれて意見交換会等を行っている。 (外部評価) 管理者は、職員とよく話しをされており、職員の努力しているところや気を付けた方がいいと思う点等を話し合われている。職員のアイデアで、庭に咲いているお花を押し花にして、ご家族に暑中見舞いを出されたり、障子の張り替えや畑仕事等も職員がすすんで行なっておられる。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) 法人内の各事業所の施設長による面談を年数回行っている。また年度初めに自己申告書を提出し、希望要望等も記入している。法人内の全職員が集まりグループに分かれて意見交換会等を行っている。 | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 法人内外の研修にできるだけ参加するようにしている。 | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) グループホーム連絡協議会の南予研修に出席したり、相互研修に参加している。 | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) 利用前に訪問して、ご家族から情報を収集するようにしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|--|
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 利用前に訪問して、ご家族から情報を収集するようにしている。 | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 利用前に訪問して、ご家族から情報を収集するようにしているが、他のサービス利用については対応していない。 | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) 掃除、炊事、洗濯物、畑仕事などを一緒に行いながら、できること、できないことの見極めを行い、できないところに手を差し伸べながら、関係作りを行っている。 | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 通院、季節の衣類の入れ替え、行事への参加等できるだけ来所していただけるようにしている。 | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) ご家族、親戚の訪問はあるが、友人等の訪問はない。 (外部評価) 管理者の同行のもと、他施設を利用されているご主人に会いに行かれることもある。 | 現在、生まれ育った場所に「行ってみたい」と言われる利用者がおられ、調査訪問時、職員と「行ってみようか」と話しておられた。利用者それぞれにとっての懐かしい場所や人等を探り、会ったり、出かけてみるような機会等も作っていかれてはどうだろうか。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|--|---|
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 介護度の低いしっかりされている利用者の方が、就床前のトイレ誘導をしていただいたり、何かとかわっていただいている。 | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 退所後の受け入れ先を手配してその後の状況等報告していただいた。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 希望を表出できない方が大半なので、本人の発言、表情等で職員全員で検討する。 (外部評価) 現在は、日々の介護記録に職員の気付きや利用者の言葉等を書き留めておられる。 | さらに、事業所では今後、センター方式の様式の抜粋で、事業所独自のアセスメント表を作成していきたいと考えておられる。全職員で利用者個々の現在の状態や思いの把握に努め、ケアにつなげていかれてほしい。 |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 入所時にご家族からバックグラウンドの情報を教えていただくが、意外と詳しくご存知ないことが大半で、入所後ご本人の話の断片からわかることが多い。ケース記録に記入して参考にする。 | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 一人一人のペース、状態に合わせてすごしてもらっている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|---|
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>職員会議で全員で検討するが、本人ご家族の参加はない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在は、日々利用者にかかわる職員で話し合い、介護計画を立てておられる。</p> | <p>さらに、ご本人やご家族の思いや要望を採り入れた介護計画の作成に向けて、取り組みをすすめていかれてほしい。</p> |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>個別のケース記録に記入して、参考にする。</p> | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>できるだけ、その時々ニーズにこたえたいが、入居者が重度化してこられているため、なかなか思うようにいかないことが多い。</p> | |
| 29 | | <p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>小学校の運動会など地域の行事にできるだけ参加するようにしている。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している | (自己評価) | |
| | | | 定期的な受診や必要時には往診をお願いしたり、必要 に応じて適切な医療を受けられるよう支援している。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 協力医の往診もあり、ご本人の状態を相談しながら、 服薬等についても検討されている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している | (自己評価) | |
| | | | 看護職員はいない。職員同士で相談し、管理者に報告 してもらい、必要時には受診するよう連携をしてい る。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | (自己評価) | |
| | | | かかりつけ医から手配していただくことが多い。入院 のさいには情報提供を行っている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価) | |
| | | | 今回看取りを考えていた利用者がおられ、職員、医 者、家族との話し合いをおこなったが、結局、看取り にはいたらなかった。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 利用者の状態の変化時、その後の支援について、ご家 族と話し合うようにされている。事業所では、設備等 のこともあり「車椅子の利用」や「浴槽をまたげな い」ような状態になったら、対応が可能な施設や病院 に移ることをご家族と相談するようになっている。高 齢で老衰状態になられた場合には、事業所で最期まで 看ることとされている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) | |
| | | | 消防署の指導のもと、担架の作り方、のどつめの対処法、意識不明時の体位の取り方等講習した。 | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) | |
| | | | 運営推進委員の方たちと一緒に避難訓練を行った。また二ヶ月前に隣に火事があり、近隣の方たちが駆けつけていただいたこともあり、来月近隣の方たちにも参加していただいて、避難訓練を予定している。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 運営推進会議時、避難訓練を行い「地域の方達が駆け付けてくださった際の役割」についても考えていきたいと話しておられた。ご近所で火災が発生したことをきっかけに、11月には、事業所で、火災時の避難訓練を実施することを計画されていた。今後は、台風や地震時の対応についても、話し合っていきたいとおられた。 | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) | |
| | | | 各部屋に入室するときは承諾を得る、トイレ誘導時の声かけ、等気をつけて行っている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 職員は、利用者への言葉使いに気を付けておられ、肩に触れたりスキンシップを大切にされていた。調査訪問時、「手が冷たいね」と職員の手で利用者の手を温めておられる様子等もうかがえ、管理者は、利用者が風やお花、星などが「きれい」と感じることができるようなかわり方をしていきたいと話しておられた。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) | |
| | | | 洋服を選んでもらったり、日課への参加等ご本人の意向、体調等から判断し、無理のない活動ができるように心がけている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 掃除、食事準備等利用者の方の意向を尊重して無理強 いせずできる範囲で参加してもらうようにしている。 自発的な動きがあればできるだけそれを支援できるよ う心がけている。 | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援している | (自己評価) 朝の洋服選び、髭剃り、整髪等自発的にできるよう支 援している。 | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の方の好物、畑で採れた旬の食材を使っ ての料理等料理法を教えてもらったりしながら一緒に下ご しえをしている。食後の下善をそれぞれが行って いただき、片付けていただく。 | |
| | | | (外部評価) 畑で採れた新鮮な旬の野菜をふんだんに使用して、や わらかめに茹でたり、彩り等も考えて調理をされて いる。魚屋が事業所まで来てくれて、週に3回、新鮮な魚 が食べられる。塩分の摂りすぎを防ぐため、汁物は朝 食と食事の内容によって付けるようにされている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 特に水分補給には気を使っている。 | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に 応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 毎食後歯磨きを実施している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) ご自分で行かれる方もおられるが、定期的なトイレ誘導を行い気持ちよく排泄ができるように心がけている。だが、失禁も多く、オムツの使用を減らすようには、なかなか至っていない。 | |
| | | | (外部評価) ご自分が心配なために紙パンツを使用されている方もある。食事の前等、職員が声を掛けてトイレに誘導をされている。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) 食材に野菜を多く取り入れ繊維質が取れるようにしている。また、水分を多く取る、毎日の散歩等で改善するようにしている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) 体調不良のとき以外は毎日入浴を実施し、洗身洗髪は、ご本人の能力に合わせて、こえかけ、介助を行っている。時間帯はどうしても、日勤の時間帯になってしまうので、自由な時間に入浴ということはできない。 | |
| | | | (外部評価) 利用者は、毎日入浴されている。冬場は、脱衣所に暖房器具を置いて室温を暖かくしてから入浴され、入浴後は、一枚上着を羽織るようにしている。利用者の状態によっては、車で法人内のデイサービスにお連れし、入浴支援されることもある。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) 起床、昼寝等ご本人の希望、状態により自然に行っている。 | |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 服薬の間違いないように、チェック表を作成し、確認して行っている。薬の説明書も一緒に綴り、内容がわかるようにしている。 | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 男性の方は庭の草引き、畑仕事を、女性の方は食事準備を主にしていただき、それぞれの能力を發揮できるようにしている。洗濯干し、掃除等は皆さんで分担して毎日行ってもらっている。また、ジャガイモ、サツマイモなどの収穫は全員で行い、収穫の喜びや季節感等を肌で感じてもらえるようにしている。 | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 春はお花見やドライブ、雛人形見物、夏はそうめん流し、秋は運動会見物、お祭り見物、またお弁当を作って戸外でのピクニック、外食等その時々で楽しめるよう利用者の方たちの意見を聞きながら外出している。 | |
| | | | (外部評価) 毎日、散歩に出かけられたり、庭の椅子で日向ぼっこをされている。スーパーにおやつや食材の買い足しに行かれたり、衣料品を買いに行かれることもある。又、時に新聞やテレビの情報をきっかけにして、季節のお花を見に出かけることもある。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) お金を所持しておられる方はない。必要なものは職員がご家族にお願いして持参してもらっている。 | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 小包等が届くとお礼の電話をかけてもらうようにしている。その際近況報告もするように心がけている。年賀状は簡単なメッセージを記入してもらうようにまたかけない方は名前だけでも書いてもらうようにしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>家の周りは緑に囲まれ、風通しも良いので季節を肌で感じることができる。共有空間である居間の隣には台所があり、常に視界に入る状態で、生活感を感じる環境といえる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修型のグループホームで、玄関の上がりかまち等、段差も多いが、職員が声をかけたり見守りをしながら、安全に生活できるようサポートされている。敷地内には畑や果物の木、池もあり、四季折々に楽しみがあるような環境となっている。</p> | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>ご本人の意志で自室で過ごされたり、気のあった方の部屋で過ごされたり、庭先の椅子で過ごされたり、自由にしてもらっている。</p> | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>各自の愛着品、位牌、たんす等持ってきてもらっている。写真、鏡等を飾っておられるかたもいるが、男性の方はあまりなく殺風景になっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>欄間やふすま、障子、違い棚、畳の間等、環境がご自宅と同じような雰囲気、利用者の落ち着く環境となっている。衣服等が収納された棚には、利用者と職員で手作りした目隠しのカーテンを付けておられた。</p> | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | <p>(自己評価)</p> <p>なるべく一人で混乱なく、安全に移動できるよう、手すり、夜間のトイレまでの明かり等で対処している。</p> | |